



日時：平成28年2月19日（金） 天候：快晴

集合：京王相模原線多摩境駅 10:00

コース：多摩境駅→札次神社→福生寺・石塔籠「秋葉大権現」→古い堀・旧荻原家住宅→御岳神社→長泉寺→中村地蔵尊→小山小学校発祥の地→中村不動尊→馬場児童公園＜昼食＞→馬場交差点→桜美林学園→町田街道→根岸西交差点→境川側道歩き→JR町田駅→小田急町田駅南口「絹の道史蹟」→町田駅解散 22,000歩 16km（伊藤自宅含め28,600歩）

参加者：森山L・神谷SL含め18名 青字一般参加

- ・平石・渡辺リク・伊藤真・平山・菊池・佐藤繁・小林俊・落合・市村・小田・武倉・塩川慶
- ・藤原和・深瀬富・小島ま・宮坂

1月27日（水）絹の道一パート①「八王子～多摩境に続き、パート②は多摩境から町田です。森山L案内書「今回は人、馬を酷使して鏈水から野を越え、人里へと辿る絹の道（旧浜街道）を町田まで歩きます。」

今回も最高の小春日和。2/17（水）常盤L平日例会「首我梅林と史蹟巡りウォーク」2/18（水）ゴルフ、に続いてのウォーキング、歩くこと3連ちゃん。しかし今日は自宅から近くて助かる。札次神社の蚕種石から始まり、丘陵麓庭付き高級旧家を通り時々道を間違えられました。皆さんバックアップ、最後はKWCも体験済の境川遊歩道を歩く。カワセミに歓迎され美しい羽根を広げて数回飛び立つ何とラッキーな光景に巡りあえました。参加人数も18名で街中ウォーキングに手頃な人数でした。森山L神谷SL下見を含め企画、案内有難うございました。パート③、期待しております。

南武線稲田堤駅から京王相模原線稲田堤駅まで相当歩く。京王相模原線橋本行「区間快速」9：07発に乗る。



京王相模原線多摩境駅9：32着でしたが既に森山L他皆さんお早い御迎えで地図と説明資料載く。



【絹の道 パート② ウォーキングマップ】後半根岸西交差点から境川沿い遊歩道を町田まで歩く（青線）



【札付神社】 平石さんによるストレッチ



**札次神社**  
 鎮座地 町田小山町二五五四番地  
 御祭神 武甕槌命(たけみかづらのみこと)  
 祭事 元旦祭 一月一日  
 例 祭 七月吉日湯の花の神事を行う  
 七三祭 十一月吉日  
 由 緒 創建の年代は不詳ですが、常陸国(茨城県)三宮鹿島神宮を勧請したもので、寛文六年の校地の時札次大明神の朱印社額高二石二斗を受ける。  
 宝暦六年(七五六年)八月に社殿再建、昭和二十六年拝殿建替、昭和三十九年七月片所津島神社と田端の八坂神社を合社する。  
 昭和五十六年五月氏子会を設立する。  
 昭和六十年八月神楽殿と社務所を新築する。  
 平成十一年九月本殿履屋建替、平成十二年鳥居、水屋を建替。  
 子孫繁栄と養蚕信仰の蚕種石がある。  
 白桜、山桜は町田市指定銘木である。  
 社 室 神像一軀、神鏡一面、棟札七枚  
 境内積 五百二十坪 風致林百八十七坪  
 社殿 入船屋造り  
 氏子数 六百戸

森山Lからコース説明。「蚕種石」八十八夜が訪れると石が緑色に変わり、それを見た養蚕農家が蚕の孵化の準備を始めた。又女性がこの石を撫ぜると子供を授かるいわれがあるようです。私もう関係有りません？ですね！



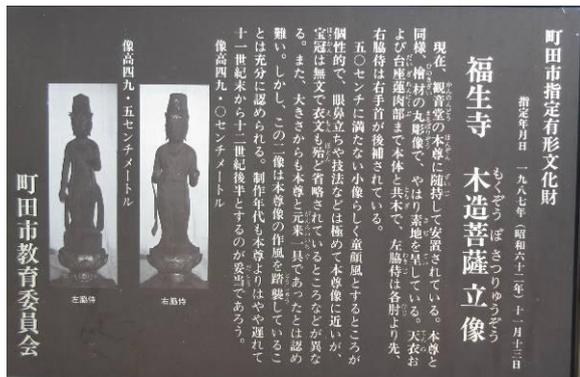
【福生寺】 1233年天野孫兵衛清彦開基、玄良法師開山 真言宗慈眼寺派。江戸時代寺領12石2斗の御朱印状拝領した名刹のようです。



境内にはモッコクの古木や梅など庭木が良く手入れされている。石段上の鐘樓も素晴らしい。



観音堂の檜木像菩薩立像は50cmほどの小さい像、平安時代作で都の重要文化財



石塔籠【秋葉大権現】

秋葉大神



【旧荻原家住宅】江戸時代初期からの名家。広い敷地、蔵と塀門がまだ残っている。母屋で養蚕をやっていた



民家の見事な紅白梅

【御岳神社】 車が多い町田街道に出る。地蔵群は向側で信号を渡る。



47：町田街道  
 503：南多摩  
 尾根幹線道路



小さな民家の入口一杯に鉢植え花壇、趣味もここまでやらなければ？

町田市71, 8km<sup>2</sup>、人口429千人、人口は東京都23区、八王子市(186, 4km<sup>2</sup>)580千人に次いで多い。3つの政令都市、横浜市・川崎市・相模原市に接している。 P4

交差点を渡り右側の地蔵群、古いものから新しく建て直されたものまで。



**【長泉寺】** 曹洞宗 蒼龍山 照室恵鑑天正年間（1573～1592）開山。慶安年間（1648～1652）寺領9石4斗の御朱印状を拝領していた。本尊釈迦木座像1尺余り。境内1,200坪。今日唯一の？健脚石段。入口9尺×左右9尺仁王様に守られた立派な山門をくぐると、正面本堂。



境内の庭木も良く手入れされており風格がある御寺です。関東では珍しく曹洞宗福井永平寺大本山のように。



子育て地蔵もあります。

## 小山小学校跡地



## 馬頭観世音



【中村地蔵尊】1756年に創立され、この近辺に有った石仏を集約し、飢餓、洪水が有ったことから安泰を祈願したと思われます。鏡のような黒ピカの石碑説明文の写真を撮っている伊藤が説明文に映って読みにくい↓



この後「馬場十字路」(町田街道) 近くの「中村不動」に行くのに、手前の寺の様な民家左の坂道を登り遠回りされた。町田街道裏街道で標識がない。神谷SL平石さん、伊藤でもう少し進むと有りました。森山L組と合流。この↓民家をもう少し進み左に細い小道を登ると「中村不動」。昼食会場公園トイレなく、コンビニ入り借りる。



【<sup>ほんば</sup>馬場児童公園】7,500歩 <昼食>11:55~12:20 狭い公園ですがベンチが有りました。



←古木の桜並木を歩きます。

桜並木の行った所に、牢場、首切り場が有った。そのため桜が植えられたのか不明。

「<sup>ほんば</sup>馬場」の地名は馬の継立場があつたのか地元資料も不明と書かれております。  
「<sup>たかだのほんば</sup>高田馬場」は徳川家の旗本達の馬術訓や流鏑馬の為の場所であつた。 P 6

「馬場十字路」



「御大記念碑」



町田街道、木蔓に囲まれた家前を歩く



町田街道をしばらく進み「桜美林学園」前を通り「根岸西交差点」から鶴川に向かう所忠生の方へ行き引き返し。



Tさんスマホで調べ近くに「三和・アルカディア」があり、ここでトイレ休憩。森山L&神谷SLアイスクリームでエネルギー補給。まだ後が有りますよ！ 13:50~14:00 13,700歩。



【境川】 東京都及び神奈川県を流れ相模湾に注ぐ2級河川本流。かつて、武蔵の国と相模国の国境とされたこと



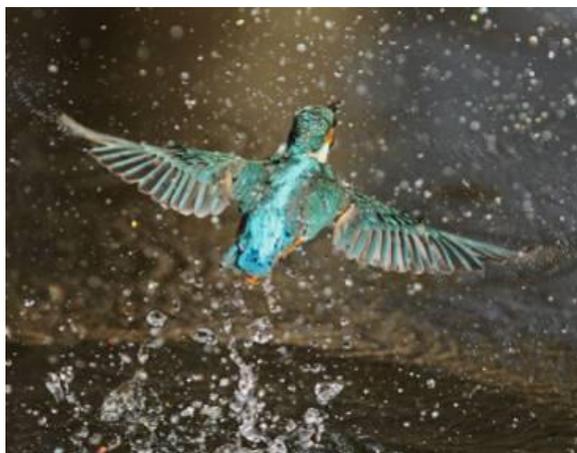
に由来し、現在でも上流部（町田市最南端まで）は概ね東京都と神奈川県の都郡境となっている。

最初は「山根橋」を渡って右岸遊歩道を町田に向かって下る。

今日は集合写真撮っておりません。境川途中の陽当りの良い処で17名（カメラマン入れて18名）



カワセミ君です。綺麗な羽根を広げ飛び立つ瞬間数回見られました。（飛んでいる写真撮影駄目でしたのでHPから引用させていただきました。オスは下嘴が黒い、メスは下嘴赤） 白鷺は動かずじっと。



広場で森山Lによるクールダウン

途中から日当たり良い左岸を歩きました。自転車も通ります。



「マルイ」が見えてきましたよ！終点はもうすぐです。頑張りましょう！



小田急町田駅近く小さな広場「絹の道」碑、何故か熟男アフター軍団だけになりましたが・・・(人出も多い)



正面左「よこはま」右「はらおおじ」伊藤も証拠写真



森山L「お疲れ様でした。途中路を間違え申し訳ありませんでした、12km予定のところ、22,000歩16kmとします。パート③はここに集合して下さい。アフターはすぐ近くの磯丸水産です」

次回絹の道③集合場所の「絹の道」碑、参考までに紹介しておきます。

### 原町田の「絹の道」碑

小田急町田駅南口を出た原町田中央通りの道路脇に原町田誕生400年を記念して、地元一番街商店会の尽力により昭和58(1983)年に建立された「絹の道」碑がある。原町田は新編武蔵国風土記稿に「神奈川道」と記されているように、八王子と横浜のほぼ中間地点にあり、八王子をはじめ各地と横浜を結ぶ「絹の道」の役目を果たしてきた。

原町田は、天正年間(1573～92年)には三斎市(さんさいいち)が、江戸時代になると六斎市(ろくさいいち)が行われるようになった。原町田は、横浜が開港されると生糸をはじめ諸物資の集散地となり、二六の市(六斎市)が盛んに行われ商業地域を形成し、現在の原町田に発展してきた。



原町田の「絹の道」碑

【アフターウォーク】希望者6名。以前来たことがあるお店でした。ここでも飲み物ランチタイムサービス料金で刺身焼き物、鍋料理美味しく戴きました。ここで③下見は平山さん強力メンバー加わられることになり、森山さん大喜び。



編集後記：絹の道パート②でしたが、①と比べて街歩きでトイレ休憩場所も少なく、その配慮の為森山Lも企画下見に苦勞されたようで、後半桜美林学園あたりから「馬場十字路・中村不動」で遠回りされました。境川入る前のトイレ休憩の為、忠生方面に行かれましたが、Tさんスマホで探索、近くに「三和」有り、ここでトイレ休憩出来ました。町田駅はJR線と小田急線があり街も複雑ですが、ここまでくれば森山Lにお任せ。次回③集合場所「絹の道」碑前間違いなきように！

今日を含め3日間連続で68、500歩歩きました。しかしアフターのお陰？メタボ減少しませんでした。今日のウォーキングは歴史を求めて近代の街歩き、地図とお互い助け合い、後半町田街道歩きを止めて根岸西から境川沿い遊歩道歩きを企画され、カワセミ君に大歓迎されるラッキーなハプニングに巡り会え素晴らしい一日でした。改めて森山L、神谷SLに厚くお礼申し上げます。

いつもの拙いボケ防止用の日記帳「メモと写真」です。失礼な記述や誤記が有るかもしれませんが、悪しからずお許しの程。説明文は森山Lメモと、HPから引用しました。